

口腔組織学・発生学

【後期】木 3

山本 朗仁, 加納 史也

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

□ **カラーアトラス口腔組織発生学 第 4 版 / 川崎堅三他編 わかば出版 2016**

→ 光学顕微鏡写真を中心にして口腔組織学を分かりやすく解説している。講義・実習ともに役に立つ教科書。

【497. 1 || Ka】

□ **口腔組織・発生学 第 3 版/ 脇田稔他編 医歯薬出版 2024**

→ 口腔組織・発生学をより詳しく解説している。臨床的な項目も多く、上級者向けの教科書。記述が難解でとっつきにくい。2015 年に改訂。

【497. 11 || Ko】

□ **組織学・口腔組織学 第 5 版/ 磯川桂太郎著 わかば出版 2024**

→ 全体を網羅している。解説がわかりやすい。到達目標が明示されている。

【497. 11 || So】

□ **口腔の発生と組織 改訂 4 版/ 田端純編 南山堂出版 2019**

→ イラストを使ってわかりやすく解説している。ただ歯の組織学が中心であり内容に偏りがある。

【497. 12 || Ta】